

配位性化合物試験 Coordination Compound Test (Test E)

L-column2 ODS では標準試験、特性試験、塩基性化合物試験、配位性化合物試験、酸性化合物試験など様々な試験をすべてのロットに対して行い、再現性を厳しく評価しています。

配位性化合物試験は充填剤基材であるシリカゲルに含まれる金属不純物と配位結合の起こりやすいオキシン銅を分析することによって評価しています。その規格値は $k(\text{oxine-copper}) / k(\text{caffeine}) = 0.170-0.200$ と定めています。金属不純物の多いカラムではオキシン銅のピークがテーリングしますが、L-column2 ODSではこのような化合物においてもほとんどテーリングのない良好なピーク形状を示し、配位性化合物の分析にも最適です。

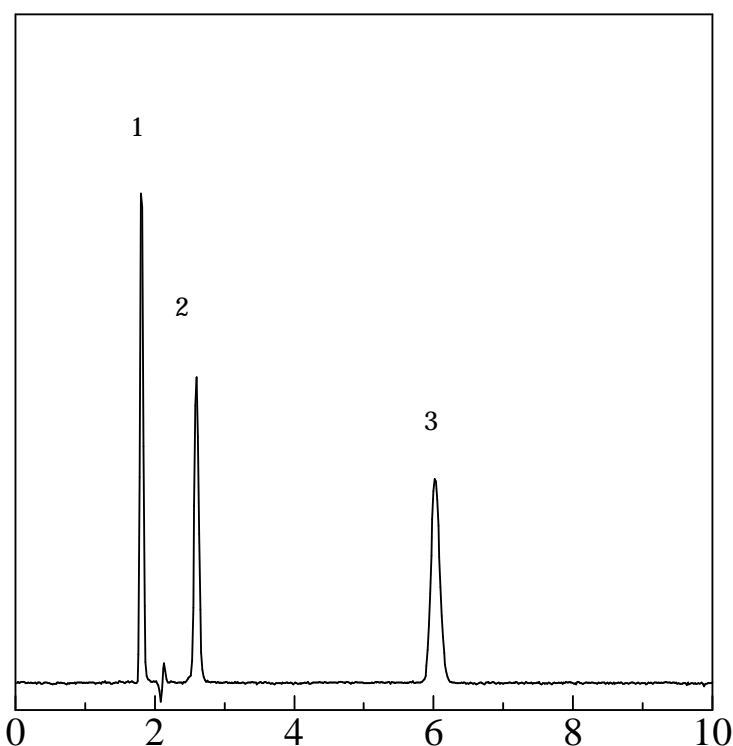
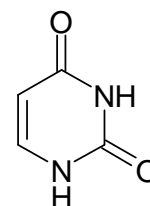
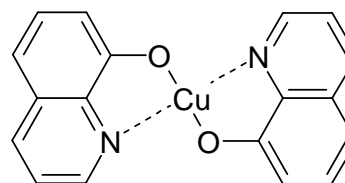


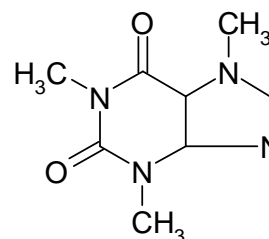
Fig. Chromatogram of Coordination Compound Test



1.Uracil (t_0 maker)



2.Oxine-Cu (0.01 mg/L)



3.Caffeine (0.1 mg/L)

【Analytical conditions】

Column : L-column2 ODS 4.6 × 150 mm
 Mobile phase : CH₃OH / 20 mM H₃PO₄ (10/90)
 low rate : 1 mL/min
 Temperature : 40
 Detection : 254 nm
 Injection : 1 μL in CH₃CN
 volume